

令和7年（2025年）度行政評価シート【個表】 令和7年6月20日

評価対象事業		評価者	スポーツ課長 月花 信介	
健福-59	各種スポーツ行事事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	スポーツ課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	4-(6) スポーツ・レクリエーション	施策の方針	4-(6)-①スポーツ・レクリエーションの推進

1 事業の目的

対象	市民等
意図	身近なところで、自主的に、気軽に楽しむことができるスポーツの振興を図るとともに、指導者の養成と資質向上を図るため
効果	市民のスポーツ・レクリエーションの推進やスポーツ・レクリエーション活動の支援を図る

2 令和6年(2024年)度実施した事業の概要

- ・市民向けのスポーツ行事を開催するとともに、スポーツ指導者の育成などを行い、地域に根ざすスポーツの促進を図った。
- ・市民の体力づくりや健康の増進、地域コミュニティの活性化を図った。
- ・鎌倉における海の魅力を発信するため、セーリングやサーフィンをはじめとした様々なマリンスポーツの普及・促進を図った。
- ・障害者スポーツの普及・促進を図った。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和6年度		令和7年度	達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)		
01	スポーツ行事開催事業	各種スポーツ事業委託	参加人数(人)	38,378 / 35000 10060 / 8767	40,000 10,324	110%	
02	ジュニアアスリート育成事業	トップアスリートとの交流事業(参加人数)	参加人数(人)	1,122 / 1100 1260 / 1417	1,150 1,449	102%	
03	一般事務経費	消耗品	—	/ — 522 / 551	562		
04				/			
05				/			
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源内訳	国県支出金	/			
			地方債	/			
			その他特定財源	/			
			一般財源	11842 / 10735	12,336		
			事業費の合計(千円)	11,842 / 10,735	12,336		
			人件費(千円)	12,618	12,642		

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.5	1.5	1.5	1.0	1.5	1.4
会計年度任用職員	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5

## 5 評価結果

### (1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	スポーツ行事開催事業	地区スポーツ・レクリエーション活動は参加者数が増加傾向にある。	地域でスポーツ活動に気軽に参加することで、市民のスポーツ実施率の向上につながる。	スポーツイベントに誰もが気軽に参加できる環境を整えるとともに、参加したくなるような企画を検討していく必要がある。
02	ジュニアアスリート育成事業	一部の教室が中止となったが、実施した教室はチラシ配付等の周知を行い、利用者は微増した。	幼少期から競技スポーツに親しむことや、鎌倉ゆかりのトップアスリートと交流することで、アスリートとしてのきっかけ作りや競技力向上に寄与した。	競技力の向上に資するため、競技団体との連携を強化し、更なる充実を図っていく必要がある。
03	一般事務経費	消耗品等共通的な経費で指標の設定に適さない。		
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

### (2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外化(民営化・業務委託等)はできないか	1 実施済み
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-2 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済 協働実施済の場合のパートナー ○-2 市民等と協働して適切に事業を実施している スポーツ協会・レクリエーション協会・スポーツ推進委員連絡協議会・地区スポーツ振興会・マリンスポーツ連盟・湘南ベルマーレ・徳洲会体操クラブ

### (3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善・変更	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民のスポーツ実施率の向上や健康維持・増進を目的として、市民のニーズ把握に努め、各種教室やイベントの充実を図る。</li> <li>・身近なところで気軽にスポーツが実施できるよう地域スポーツの振興を図る。</li> <li>・東京オリンピック・パラリンピックの開催により高まった市民のスポーツへの興味を維持するとともに、ジュニア世代を対象に教室を開催し市民の競技力向上を図る。</li> <li>・障がい者スポーツに対する理解を深め、あらゆる市民がスポーツに親しめる環境を提供する。</li> </ul>					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	ジュニアアスリート育成事業参加人数						単位	人
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
幼少期から競技スポーツに親しむことで、アスリートとしてのきっかけ作りに寄与する	目標値	300.0	300.0	300.0	1,100.0	1,100	1,150	
	実績値	0.0	306.0	1,005.0	1,142	1,122		
	達成率	0.0%	102.0%	335.0%	103.8%	102.0%		

指標(単位)	地区スポーツ振興会協議会スポーツ行事参加人数						単位	人
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
地区スポーツ・レクリエーション活動の活性化の状況を把握するため	目標値	60,000.0	60,000.0	60,000.0	30,000.0	35,000.0	40,000.0	
	実績値	759.0	11,404.0	23,870.0	32,015.0	38,378.0		
	達成率	1.2%	19.0%	39.8%	106.7%	109.7%		

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名	鎌倉市	横浜市	秦野市	伊勢原市	葉山町	寒川町	箱根町	真鶴町
他市実績								

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	スポーツ行事の継続や開催内容について、関係団体等と協議を重ねて検討していく。
--------------------------	--